

ひと・自然・もの・こととの豊かな関わりの中で生きる力を育む ～ハッピーに生きるために、いま必要なこと～

講師：金森俊朗先生（北陸学院大学）の紹介

学生を感動で泣かせる先生

私が、保育者・教師を目指して入学してくる学生たちに、決まって最初に見せる教材ビデオがあります（幼稚園免許・保育士資格必修、1 回生開講義科目「教職論・保育者論」にて）。それは、『涙と笑いのハッピークラス ～4 年 1 組 命の授業～』という録画番組（NHKスペシャルこども輝けいのち第3 集、2003 年 5 月 11 日放送）です。これは、今回の保問研講座講師である金森俊朗先生が、当時 56 歳のときに受け持っていた学級の、文字通り「涙と笑い」の 1 年間を追ったドキュメンタリーなのですが、毎年多くの学生（たぶん教室にいる全員）がこのビデオを見て感動で涙します。（なぜって？…一言で語れません。よかったら、このビデオ、みんなで試写会しましょう。）

金森先生の教育思想～学校はハッピーになるために来るところ～

「学校は何のために来るところか？」（普通に考えると「勉強するため」と答えるでしょうか？しかし、）金森先生は、子どもたちに「ハッピーになるために来るところ」とシンプルに教えます。スローガンを掲げるだけであれば、誰でもできることですが、金森先生のすごいところは、それを子どもとともに実現するところ。学校生活・あそび・授業の中で、みんながつながりあい、わかりあい、認め合う経験を積み重ねることを通して、みんながハッピーになれる学級をつくっていきます。「保育園も、子どもがハッピーになるために来るところ」と言っていていいでしょう。金森先生の教育実践、教育思想から大いに学びたいと思います。

全国保問研集会（石川）の特別講座の感動再び

今年の石川で開催された、全国保問研集会の 2 日目の特別講座の 1 つに、金森先生の講座（自然と豊かにかかわる中でセンスオブワンダーを育む）がありました。季刊報告号によれば 12 の特別講座のなかで、もっとも参加人数が多かったのは、金森先生の講座です。その時に好評だった話（ロープと竹で保育園の園庭につくった手作り運動遊具、2 つのカメラ、どろんこサッカー、郡上八幡での飛び込みなど）もまたしていただきますので、石川で聞けなかった人は、今回京都で聞けます！ ぜひ、ご参加ください。